

横浜の川でくらす生物たち

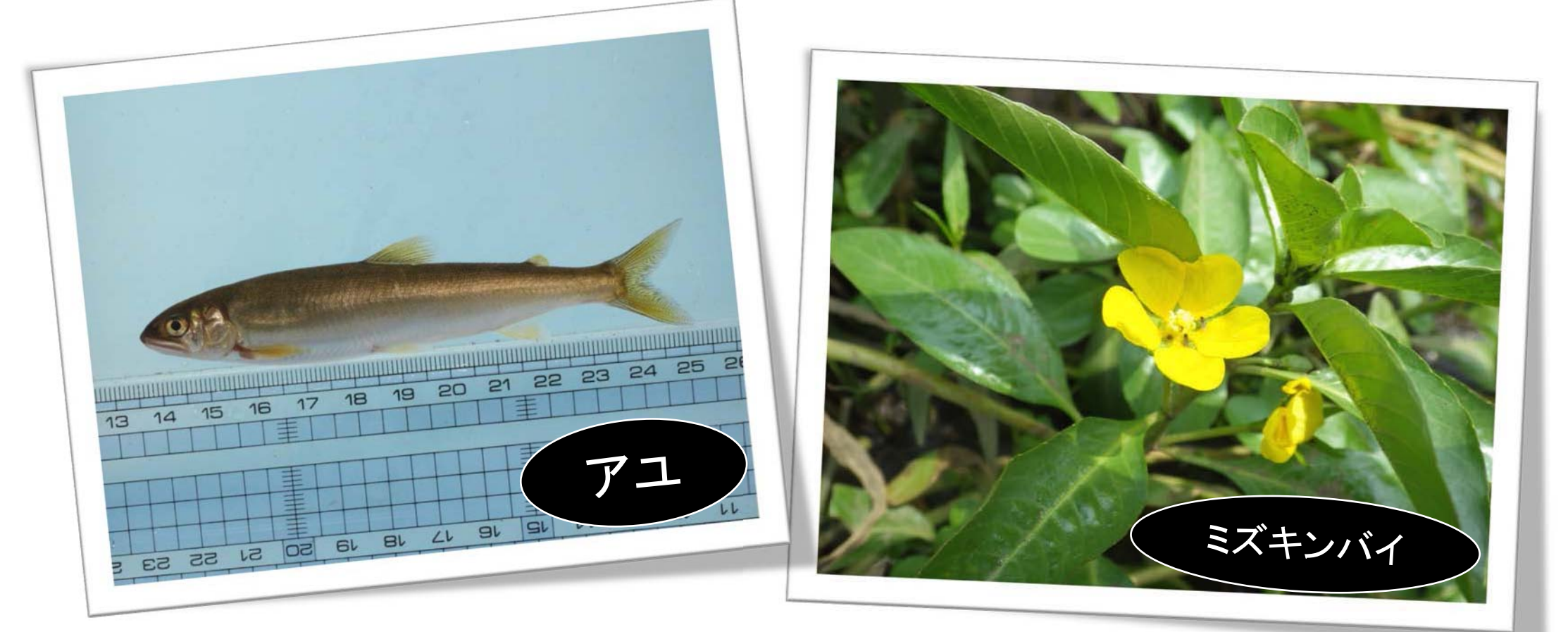
～第14回横浜市河川生物相調査結果概要～

横浜市は、市内を流れる河川のうち6水系について、1973年度から約3年に1度の頻度で魚類、底生動物、水草、付着藻類についての調査を実施し、生物から河川の水質評価をしています。

2014年度冬季及び2015年度夏季には第14回目となる調査を行いました。この約40年間で、下水道の普及による水質の改善などにより、一度は姿を消しながらも横浜の川へ戻ってきた生物もいます。一方で、最近では外来種も増えてきています。詳細な結果は、環境科学研究所のホームページに掲載しております。

1 調査内容

調査地点	6水系(鶴見川、帷子川、大岡川、境川、宮川、侍従川)における41地点
調査時期	2014年12月～2015年2月、2015年8月～10月
調査対象	魚類、底生動物(エビ、カニ、貝類、水生昆虫など)、水草、付着藻類(川底の石などに付いている藻類)



2 調査結果概要

魚類は54種、底生動物は204種、水草は27種、付着藻類は154種の合計439種が確認されました。第14回調査では、第11回調査(2005年度)以来となる冬季の調査を実施したことに加え、今まで水草調査の対象としていなかった抽水植物を調査対象に含めたため、第13回調査(2011年度)の354種よりも多くの種類が報告されました。

439種のうちレッドリスト等掲載種^{注1)}は35種、外来種^{注2)}は44種(国外外来種32種、国内外来種9種、品種3種)でした。

注1)レッドリスト等掲載種は、環境省レッドリスト(環境省RL)、神奈川県レッドデータブック(県RDB)に掲載されている種

注2)外来種には国外外来種(海外から移入された種)、国内外来種(国内他地域から移入された種)、品種を含む

水生生物	種類数	うちレッドリスト等掲載種	うち外来種
魚類	54種	ミナミメダカ、アブラハヤを含む20種	カダヤシ、オオクチバスを含む17種
底生動物	204種	ハグロトンボ、コシボソヤンマを含む10種	アメリカツノウズムシ、カワリヌマエビ属を含む18種
水草	27種	セキショウモ、ミズキンバイの2種	オランダガラシ、オオカワヂシャを含む9種
付着藻類	154種	オオイシソウ、タンスイベニマダラを含む3種	—

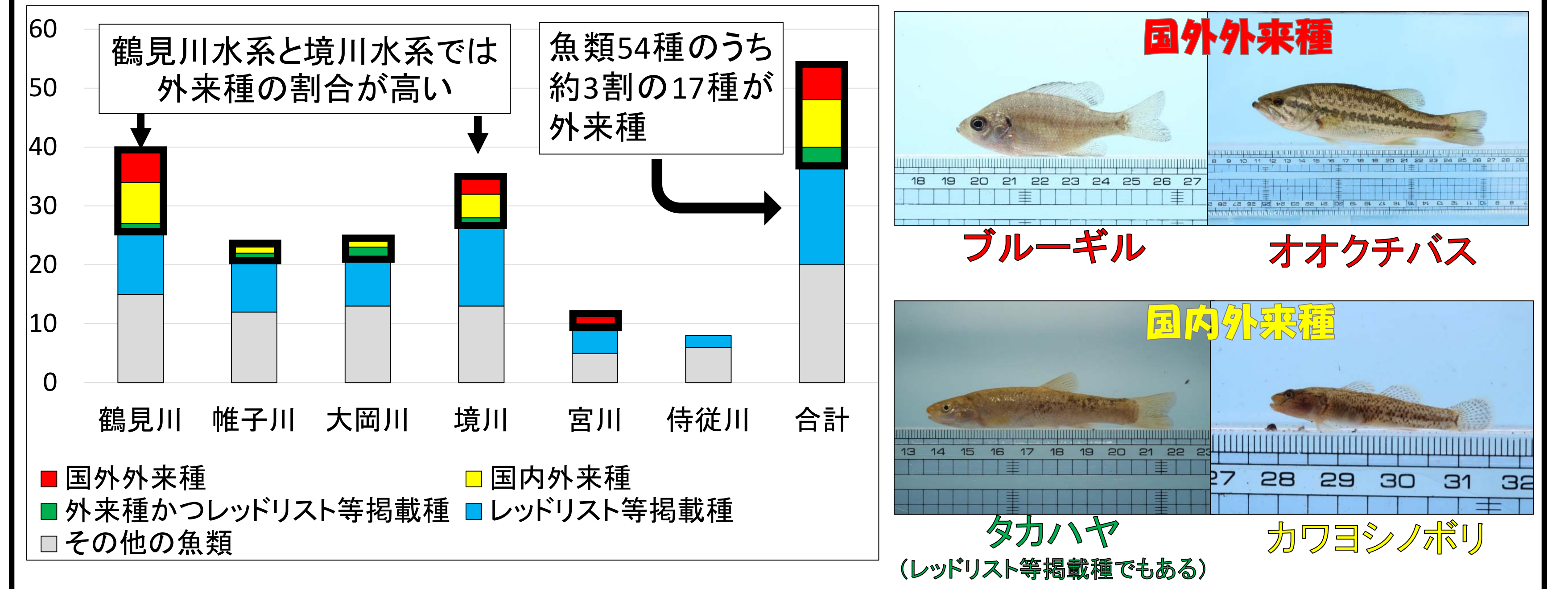
3 横浜市内河川における外来種の動向

外来種の出現状況 <1981～2015年度>

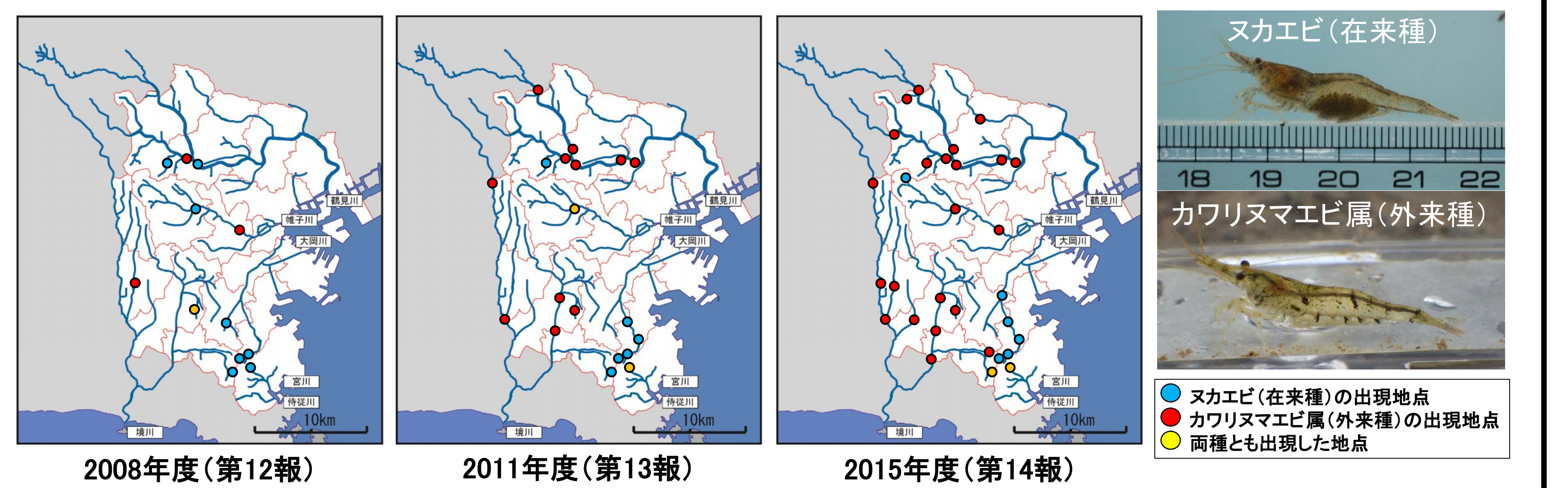
生物名	年															外来種リスト	注		
	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1999	2002	2005	2008	2011	2015							
タイリクバラタナゴ																		特定	重点
ソウギョ																			その他
カダヤシ																			
グッピー																			
カムルチー																			
ブルーギル																		特定	緊急
オオクチバス																		特定	緊急
カワズメ科																			その他
カワドジョウ																			
ファットヘッドミノ																			
カワムツ																			
タカハヤ																			
タモロコ																			
イトモロコ																			
スゴモロコ類																			
ナマス																			
キバチ																			
カワヨシノボリ																			
イロゴイ																			
ヒメダカ																			
キンギョ																			
コモチカワフナ																			
サカマキガイ																			
コウエンカワヒバリガイ																			その他
タイワンジミ																			その他
イガイダマン																			その他
インドヒラマキガイ																			その他
ムラサキガイ																			その他
モノアラガイ科																			
ウスイロオカチガサ																			
タチジマフナ																			
アメリカフナ																			その他
ヨーロッパフナ																			その他
フロリダマシコエビ																			その他
アメリカザリガニ																			緊急
チチュウカイミドリガニ																			その他
カワリヌマエビ属																			その他
外来性スズメエビ属																			
アメリカノウズムシ																			
アメリカミノウズムシ																			
オランダガラシ																			重点
オオフサモ																			緊急
オオカナダモ																			重点
コカナダモ																			重点
オオカワヂシャ																			特定
ウチワゼニグサ																			緊急
キショウブ																			重点
コゴメイ																			重点
キシュウズメノヒエ																			その他

※2015年度は、2014年度冬季と2015年度夏季の結果を合算
 ※「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年3月、環境省及び農林水産省)

各水系の魚類種数に占める外来種の割合

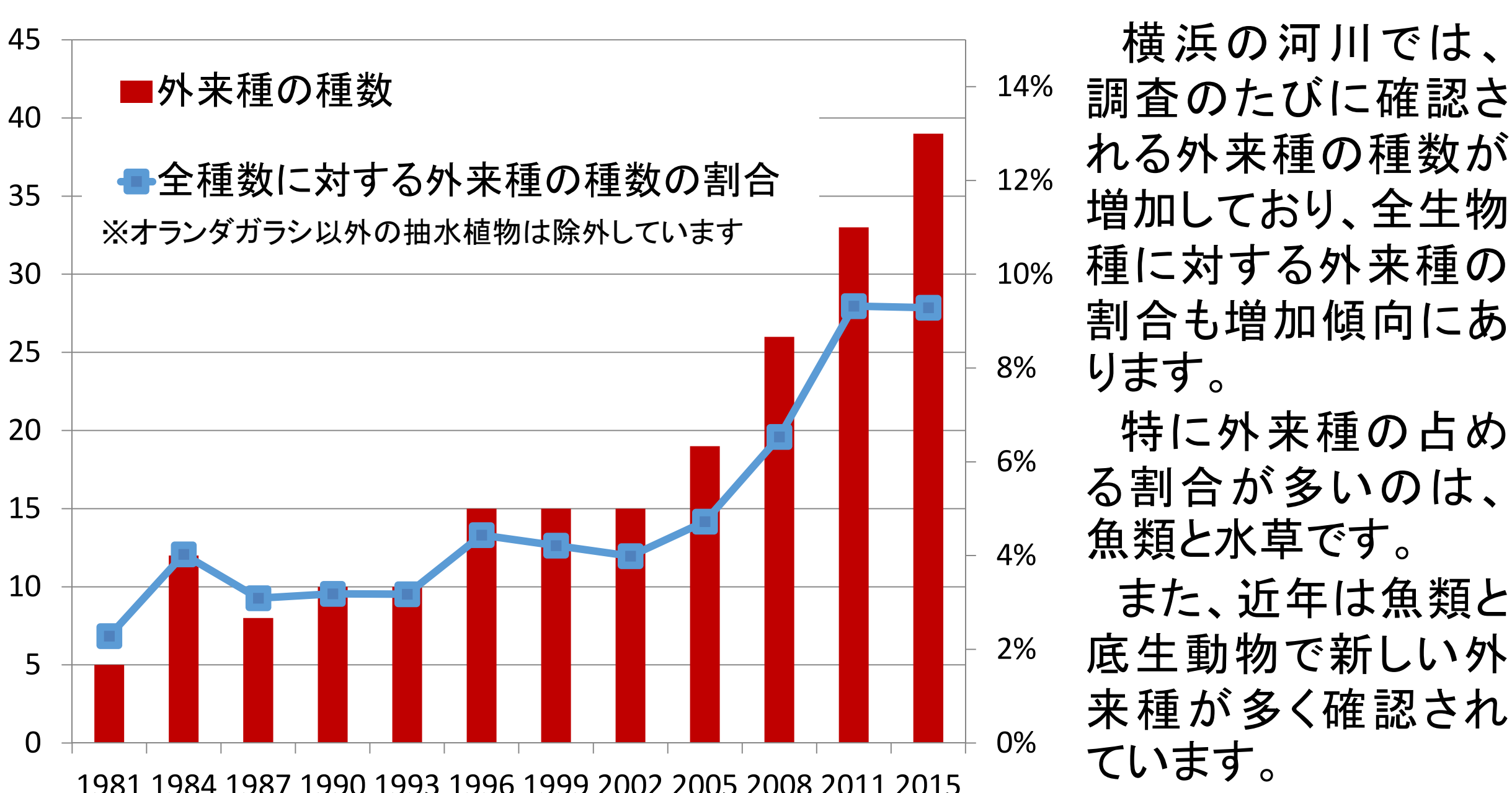
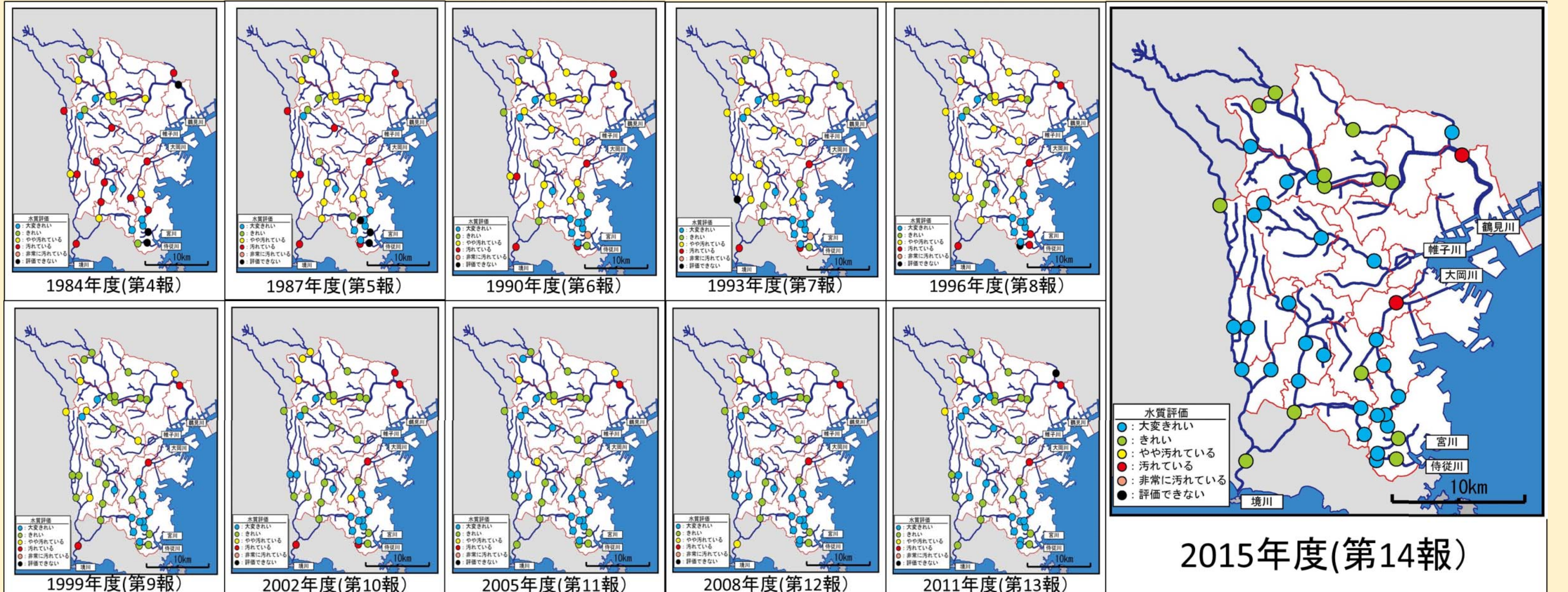


分布を拡大しているカワリヌマエビ属(外来種)



4 生物指標による水質評価

こんなにきれいになった!～横浜の河川の水質評価結果(夏季)～



横浜の河川では、調査のたびに確認される外来種の種数が増加しており、全生物種に対する外来種の割合も増加傾向にあります。特に外来種が占める割合が多いのは、魚類と水草です。また、近年は魚類と底生動物で新しい外来種が多く確認されています。